TECHNIX ADVANCED SMART CARTRIDGE

TASC for HONDA MONNKY125

ノーマルフロントフォークにダンピングアジャスターを後付け！
高機能カートリッジフォークへ MONKY125 をアップグレード！

TASC 内部イメージ
（写真は MT-09）

TASC for HONDA MONKY125（JB02） ￥105,600（税抜¥96,000） TASCMONKY

TASC は部品単品での販売はしておりません。TASC の組込みには高度な技術を要するため、弊社にて組込み作業を行います。表示価格には組込み工賃が含まれております。

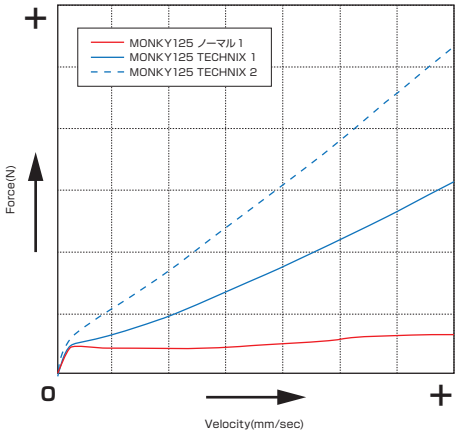
TASC 組込み時に消耗部品の交換料金 ￥8,580（税抜¥7,800）
交換部品：スライドメタル、ガイドメタル、ダストシール、オイルシール（ダストシール、オイルシールは SKF）

ノーマルフォークスペック			TASC フォークスペック			
ダンピングアジャスター非装備	ダンパーロッド式	▶	伸側 ダンピングアジャスター	圧側 ダンピングアジャスター	カートリッジ式高性能積層シム	専用 フォークスプリング

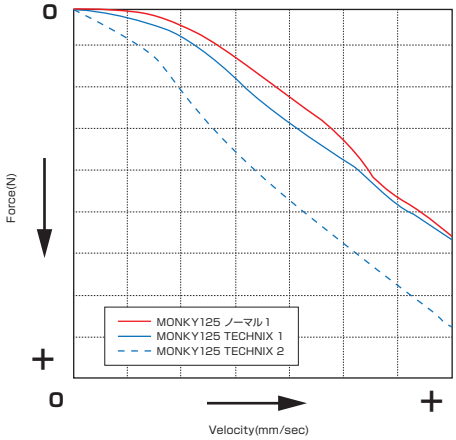
純正のフォークには調整機能がなく、リニアな動きに対応できないダンパーロッドタイプのフロントフォークを採用する Monky125。
フロントがリアに比べ極端に柔らかく、姿勢も常にフロントが低く、トレール量も少ない。そのためスピード域を上げていくにつれ、直進安定性が無くなり、突然のフルブレーキング、急旋回には対応できません。また、前後のピッチングが大きくコーナリング中はかなり不安定になります。そこで Technix では TASC キットを Monky125 用に開発。
積層シム型バルブシステムを用い完全カートリッジ化。片側をコンプレッションダンパー、もう片側をリバウンドダンパーの左右独立調整式システムに大きく変更。
スプリングレートも見直し最適化を図り、ダンピングにワイドな調整幅を持たすことで、トレール量も適正化され路面への接地感が格段に向上された。
ブレーキをしっかりと使ったライディングができ、ストリートからスポーツ走行までの幅広いシチュエーションで最適な特性を得ることが可能に。

ダイノテストと実走行テストで、様々なライディングフィールドのセッティングデータをチャート化し仕様を決定しています。

MONKY125 コンプレッションの比較例



MONKY125 リバウンドの比較例



STREET Set

低速、低荷重でも乗り心地を損なわないように減衰力は弱め、小さなギャップ通過時の突き上げも確実に吸収しライダーへの不快感を大幅に軽減。
フロントタイヤが路面に留まるよう伸び側減衰を若干効かせ気味にセットアップ。

WINDING Set

積極的にバイクを旋回させるため、ブレーキを当てながらコーナにアプローチすることを前提に、ストリートよりも圧側減衰を強めに掛ける。
切り返しで軽快に車体を操る為にあえてリバウンドはストリートセットと同じ。コーナリング中の前後のピッチングをなくし、ライディングを楽しむ仕様にセットアップ。

弊社テストでは、リアショックを「NITRON　R3 シリーズ」を装着してテストしております。車体のバランスを取るために同ショック又は同等の社外品への交換を推奨致します。
同ショックを装着の場合には、各ステージごとのリアショックセットアップデータの提供も可能です。

racing suspension Technix
有限会社テクニクス

［ご注意］：製品の改良・相場の変動により、価格・仕様は予告無く変更される場合があります。掲載の色調は環境により実際と異なる場合があります。